

～ 嵐山町 × 消防団 × 大妻嵐山高校 ～ コラボシャッターアート完成!



お披露目式にて大妻嵐山高校美術部2年生と嵐山消防団のみなさん



栗原未来さん作成デザイン案

令和4年3月に老朽化のため建て替えた嵐山消防団第1分団第3部の車庫（鎌形）で、大妻嵐山高校の美術部2年生の皆さんが、消防団のイメージアップのため、2か月間にわたりシャッターアートを制作しました。デザインは令和3年埼玉県防犯ポスターコンクール（高校生・一般の部）で最優秀賞を受賞した栗原未来（みく）さんです。



栗原未来さん



シャッターアートを制作してくれた大妻嵐山高等学校美術部2年生のみなさん



栗原未来さん インタビュー



▼話があったときの気持ちは？
うれしい気持ちとプレッシャーを感じました。シャッターに絵を描くことは今までなかったことなので、ドキドキしていました。

▼デザインが選ばれたときは？
えっ！という感じでした。ほかの2人が作った案もよかったので、ほんとうにいいのかな…？って。

▼デザインの推しポイントは？
とにかく嵐丸と炎のキャラクターをかわいく描こうとしました。私のデザインで嵐丸が本家よりもまるくなっています。

▼良かったこと、大変だったことは？

普段から仲の良い高校2年生の7人で協力して制作できたことが、すごく嬉しかったです。理想の色を作ることが難しく、みんなで意見を出しながら試行錯誤して作りました。また、ペンキの色によって硬さや乗りやすさが違って、苦労しました。特に水の影の部分の色（浅葱色）が硬くて塗りづらかったです。シャッターの表面がデコボコしているので、白く抜けてしまうことがあり、塗りなおしの手間がかかって大変でした。

▼テレビ取材の感想は？
取材されるというのは初めてで、緊張しました。途中で嘔んでしまい、不甲斐なくて、撮り直しをお願いしました。



いす。

▼消防団の印象は？

シャッターアートで関わる前は、消防団員は火の中に飛び込んでいくこともあるので、少し怖い人たちかなという印象がありました。

今回のシャッターアートを通じて面白い方や心優しい方ばかりで、それでいて消防団員ならではの熱いところを持っているということが分かりました。これからも消防団員の方を見かけたり、現場に向かう消防車を見かけたりしたら、「がんばれ！」と心の中で応援したいと思います。

▼最後に伝えたいことは

協力してくださった嵐山町や消防団員のみなさんに感謝の気持ちです。ありがとうございます。



笹岡先生 （美術教諭） コメント

今まで生徒たちがこれほど大きな壁面に共同で一つの作品を制作することはありませんでした。不安もあったと思います。しかし、徐々に仕上がっていく壁面に、感動と確かな手ごたえを感じている生徒の気配を感じる事ができました。

美術や芸術は、見る人がいて、その波動や熱が伝播し、その意味が出てくるものです。

今回の制作はまさに美術の社会における意義を表したものだと思います。地域の皆さんとのかかわりによる貴重な体験、感動を記憶として、生徒ひとり一人の心の中に刻まれたことと思います。



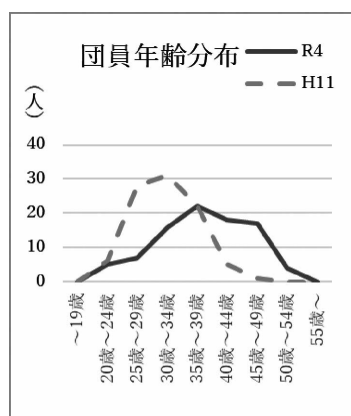
千野消防団長 コメント

全国的に消防団員の減少が叫ばれるなか、私たち嵐山消防団も左図のとおり、この20年で平均年齢・勤続年数に加え、町職員の割合も大幅に伸びています。

そこに、消防団車庫の「シャッターアート」企画を町から提案され、一緒に進めました。新規入団には、長年の団員勧誘の経験から、幼い頃より消防団が身近な存在であるかがポイントとなっています。

完成した「シャッターアート」は私の想像を超えるクオリティーで、先生・生徒さんに感謝しきれません。生徒の皆さんが大人になっても見に来てもらえるよう、大切に使います。嵐山消防団の宝物です！

比較項目	H11	R4
平均年齢	31.8歳	38.2歳
平均勤続年数	6.0年	11.0年
町職員率	16.1%	27.0%



※比企広域消防年報をもとに作成（男性団員93名のみで比較）

シャッターアートに関する問合せ
嵐山町役場 地域支援課
☎0493-62-2152

消防団の活動や入団に関する問合せ
小川消防署 嵐山分署
☎0493-62-3890